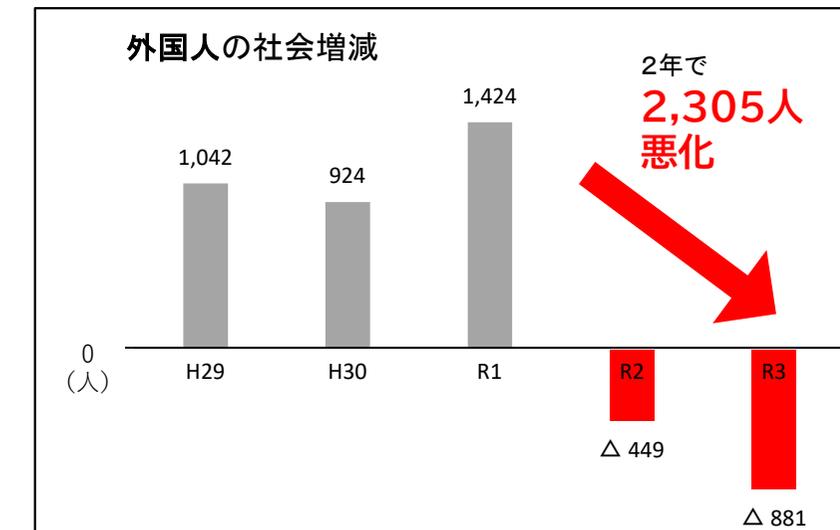
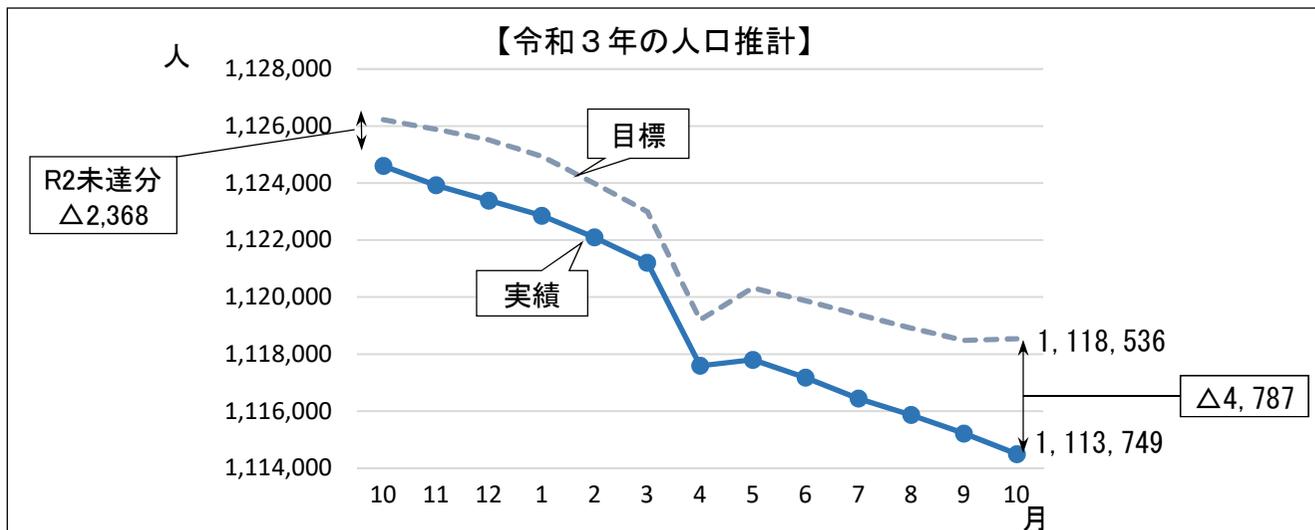
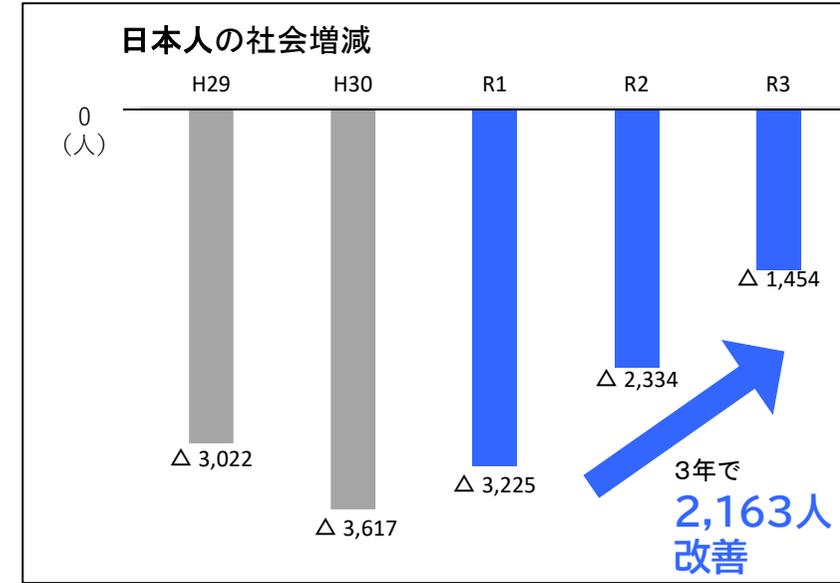


令和3年10月1日の推計人口について

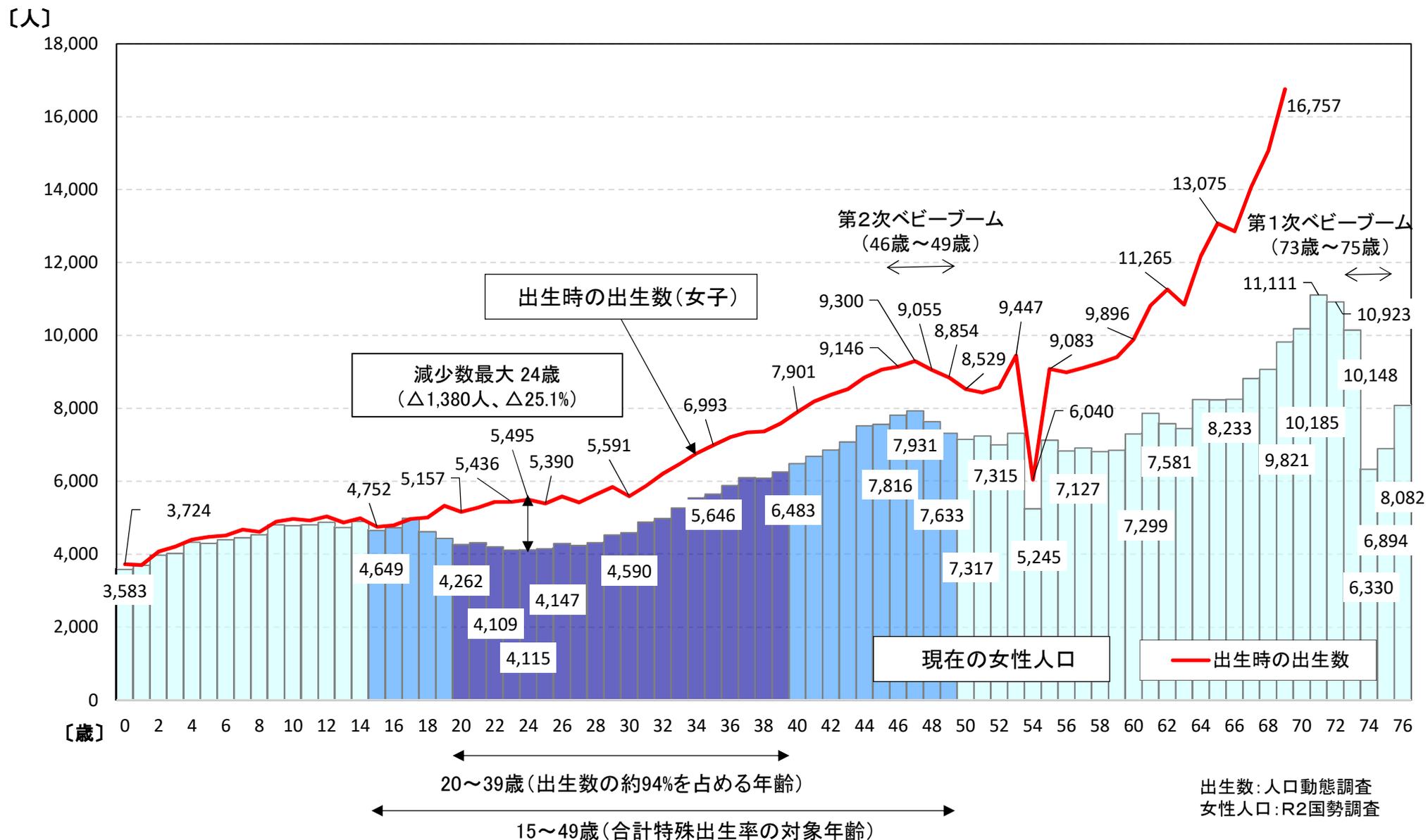
○令和3年10月1日の人口：1,113,749人（自然増減△7,768（出生7,317、死亡△15,085）、社会増減△2,335）
 ○令和2年10月1日の人口：1,123,852人（自然増減△6,665（出生7,706、死亡△14,371）、社会増減△2,783）
 前年比（R3-R2）：△10,103人（自然増減△1,103（出生△389、死亡△714）、社会増減+448）

【人口の増減要因】

自然動態		社会動態	
増加要因	減少要因	増加要因	減少要因
<ul style="list-style-type: none"> ・出会いサポートセンター成婚数 R2:52組 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍における妊娠届の減少 R1→R2 △5.0% ・婚姻件数の減少 R1→R2 △11.0%（令和元年は「令和婚」で婚姻件数が増加） ・死亡者の増加 	<ul style="list-style-type: none"> ・移住者数の増加 R2:1,287人（過去最多）4年連続で1,000人超 順調なスキルアップ移住 家族含む移住予定者59人（R3.10月現在） ・転職なき移住の促進 富士通(株) 社員9人+家族(R3.9月) ・農林水産業新規就業者 R2:468人（過去最多） ・創業支援件数 R2:626件(対前年+35件) 	<ul style="list-style-type: none"> ・在留外国人の減少 R2.6月→R3.6月 技能実習生 △779人 留学生 △870人



大分県の現在の女性人口とその女性が生まれた当時の出生数の比較



- 各年齢の女性人口は、その女性が生まれた当時の人口と比較すると18歳以降大きく減少(最大、24歳で△1,380人、減少率 △25.1%)
- 出生数の約94%を占める20～39歳の女性の合計では、出生当時から19.9%減少(122,087人→97,737人)
- 自然増のためには出生率の上昇と併せて、女性人口の減少をいかに食い止めるかが課題

若年女性人口について

- 令和2年国勢調査における本県の若年女性（20～39歳）人口は9.8万人で、前回調査に比べ大きく減少（△1.6万人、△14.6%）し、減少幅が拡大（△13.1%→△14.6%）している（全国は△12.2%→△8.1%）。
- 出生数の減少に加え、県外からの転入者の伸び悩みや若者の都市部への転出拡大が主な要因と考えられる。
- 市町村別では、豊後高田市を除く17市町村で減少している。

